

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		後期高齢者医療負担金事業				②事業番号		4102	
③事業類型		1. 法上(必須)事業		④開始年度	平成 20 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし	
⑥根拠法令等	○ 法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称: 高齢者の医療の確保に関する法律		
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード		款	3	項	1	目	14	細目	2
⑨担当部名		⑩担当課名					会計 一般会計		
福祉保険部		保険年金課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
① 大阪府後期高齢者医療広域連合		① 大阪府後期高齢者医療広域連合		団体
②		②		
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
大阪府後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者医療制度について、必要な事務経費負担金および療養給付費負担金として、被保険者にかかる医療費の1/12を市負担金として支出する。		① 事務経費負担金		千円
		② 療養給付費負担金		千円
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
大阪府後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者医療制度について、必要な事務経費負担金および療養給付費負担金を支出し、制度の円滑な運営を行う。		① 事務経費負担金		千円
		② 療養給付費負担金		千円
		③		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
大阪府後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者医療制度の適正な運営を行う。		政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち	
		施策大(節)	2 すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします	
		施策中	1 医療環境の充実	
		施策小	5 後期高齢者医療制度の適正な運用	

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	大阪府後期高齢者医療広域連合	団体	1	1	1	1	1	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	事務経費負担金	千円	22,226	20,837	20,814	21,505	22,218	
活動指標②	療養給付費負担金	千円	652,085	675,482	655,417	677,176	699,658	
活動指標③								
成果指標①	事務経費負担金	千円	22,226	20,837	20,814	21,505	22,218	
成果指標②	療養給付費負担金	千円	652,085	675,782	655,417	677,176	699,658	
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.40	0.40	0.40	0.40		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	3,243	3,085	3,053	3,053		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	674,312	696,619	676,048	734,078		—
	直接事業費	千円	677,555	699,704	679,101	737,131		
	総事業費	千円						
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	677,555	699,704	679,101	737,131		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	平成20年度より後期高齢者医療制度が始まったため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	団塊世代が75歳となる2022年～2024年が被保険者数のピークとなる予定で、それまでは、医療費・事務経費の増加が見込まれる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔1〕の評価	A
評価項目			評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)			ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	医療費等の実績に応じて負担金が決定されている。				

〔2〕有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔2〕の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。			ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	負担金を支払うことで、後期高齢者医療制度の健全な運営が図られている。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)			アイ. ある イ. ない	法令により算定された負担額である。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。			ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—				

〔3〕効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔3〕の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)			アイ. ある イ. ない	事業を行うために必要な人件費以外は法令に基づき算定された負担額であるため、削減等はいけません。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞	
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—